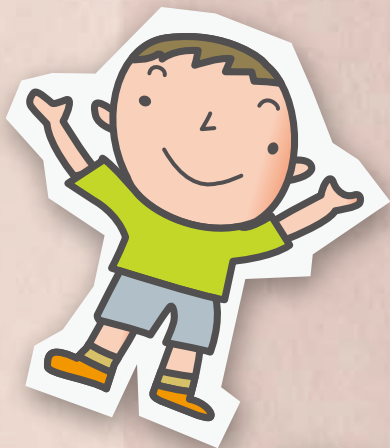
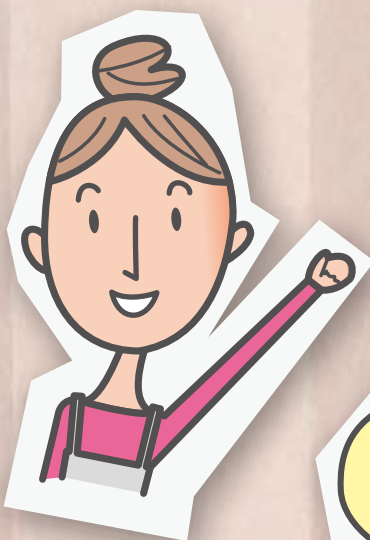


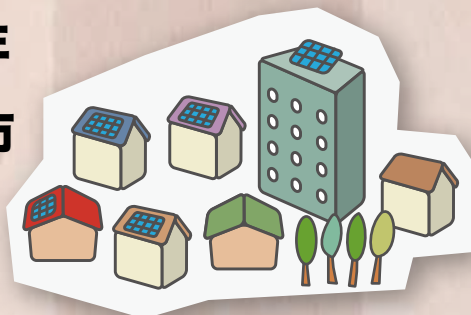
○池田市環境基本条例ができました

○学習支援 Web サイト  
「池田市地域まるごと環境学習」ができました

# いけだ かんきょう レポート 2015



2016年  
池田市



# はじめに

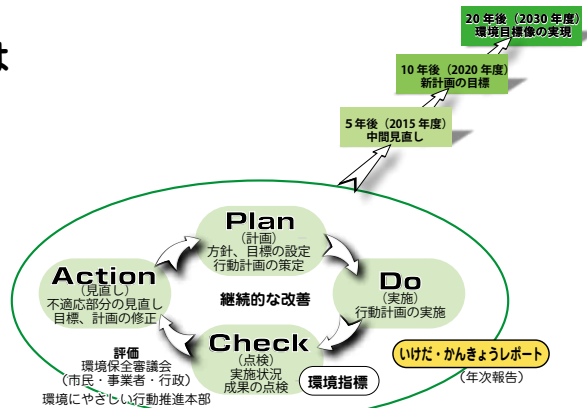
## いけだ・かんきょうレポートとは

「いけだ・かんきょうレポート」は、池田市内における環境の取り組みを報告するものです。ここで報告するのは、行政の取り組みだけでなく、市民や市内の企業によるものも含まれます。

このレポートを通じて、より多くの方に市内の取り組みを知っていただくとともに、もっとたくさんの方に環境の取り組みを広めること、また『池田市新環境基本計画』の取り組みが進んでいるかどうかを見直して、よりよい取り組みにつなげることなどを目的に、毎年発行しているものです。

※この報告書の作成は、『池田市環境基本条例』で定められているものです。

※行政や市民、事業者の取り組みについては2015年度を中心に記載していますが、エネルギー計算などの統計値については、把握可能な最新年度の数値を使用しています。



1年ごとに取り組みを点検するための資料です。

環境をまもり、よくするために、どんなことが行われているかが分かります。そして、環境のことを学んだり、考えたりするのも役立つものです。



案内役のウォンバット君

### ～ いけだ・かんきょうレポート 2015 目次 ～

はじめに	-----	1
環境基本条例について	-----	1
I. 新環境基本計画の概要	-----	2
II. 環境目標の達成度	-----	3
III. 各分野の現状と主な取り組み	-----	5
1. とともに学びあい、行動しよう	-----	5
2. 未来の子どもたちのために地球温暖化を防ごう	---	10
3. 環境にやさしい循環型都市をめざそう	-----	14
4. 豊かな自然を守り、育てよう	-----	17
5. 人にやさしいまちづくりを進めよう	-----	19
IV. かんきょうレポートによせて	-----	21

# 環境基本条例について

2016年6月、新環境基本計画や環境に関わる各種取り組みの根幹となる『池田市環境基本条例』が制定されました。この条例は、環境の保全及び創造についての基本理念、市、市民及び事業者の責務並びに施策の基本的事項を定め、その施策を総合的かつ計画的に推進することにより、健康で文化的な生活を営むことのできる良好な環境を確保し、地球環境の保全に貢献することを目的とします。今後はこの条例のもと、よりよい環境の保全・創造に取り組んでいきます。

### 池田市環境基本条例の骨子（抜粋）

基本理念	1. 市・市民・事業者が環境に関わる問題について知り、参画と協働のもとに取り組む。	
	2. 地球環境の保全に貢献する。	
責務	市	3. 環境への負荷が少なく持続的に発展することが可能な社会の実現に貢献する。
		4. 人と自然との共生を図る。
	市民	5. 健康で文化的な生活を営むことのできる生活環境を将来の世代へ継承していく。
		・環境の保全・創造に関する施策の策定・実施。
		・公共事業における環境の保全・創造への配慮、環境負荷の低減。
事業者	・必要な体制整備や財政上の措置。	
	・国・地方公共団体、国際機関との協力による施策の推進。	
	・日常生活における環境への負荷の低減。	
市民	・市が実施する施策への積極的参画や協力。	
	・市民が相互に、又は市や事業者と協働して地球環境保全活動に取り組む。	
	・事業活動に伴う公害の防止や環境への負荷の低減。	
事業者	・市が実施する施策への積極的参画や協力。	
	・市及び市民と協働して地球環境の保全のための活動に取り組む。	

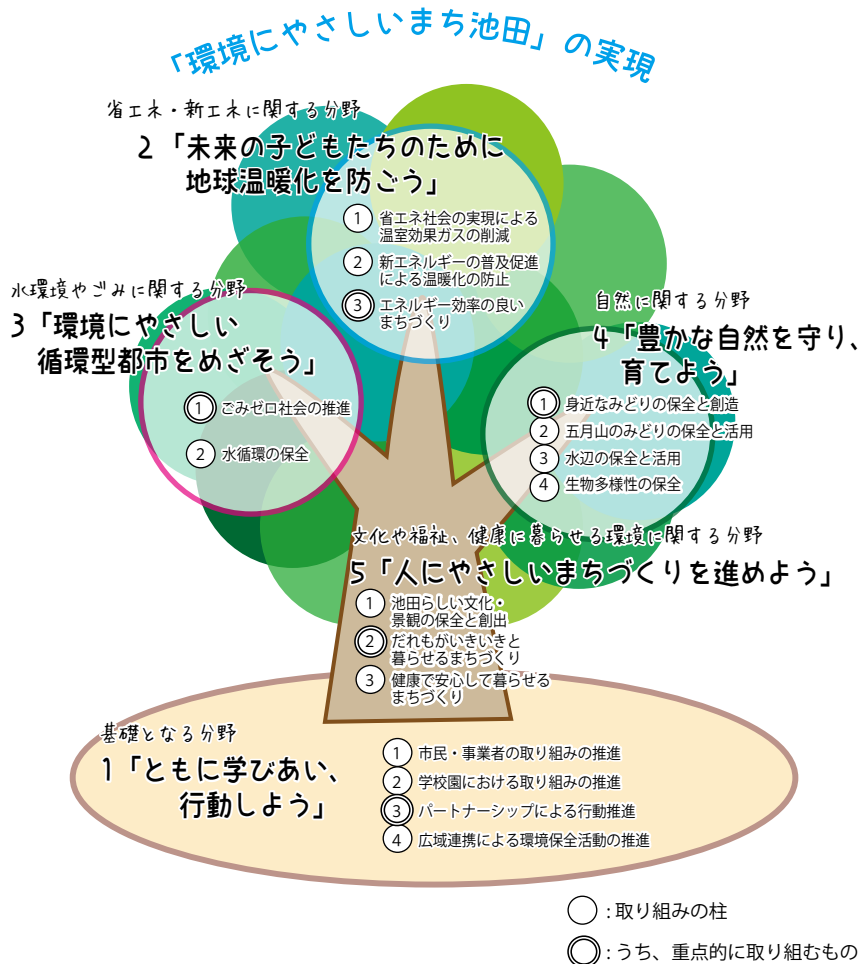
詳しい内容は、環境政策課までお問い合わせ下さい。

# I. 新環境基本計画の概要

『池田市新環境基本計画』の基本的な方針として「今日の目標を明日の当たり前へ」をキャッチフレーズに、環境目標像を設定しています。



『池田市新環境基本計画』では、環境目標像の実現に向け、取り組みの柱および重点的な取り組みを設定しています。



## II. 環境目標の達成度

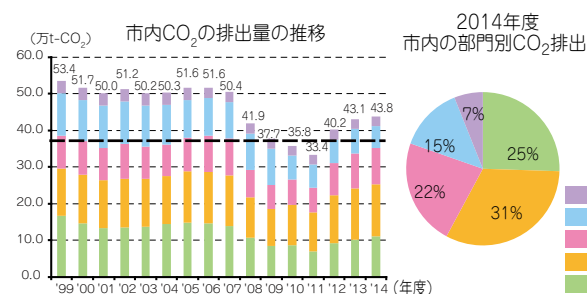
環境目標像の実現に向けて、池田市の計画が進んでいるかどうかを測るものさしとなるものが「環境目標の達成度」です。『池田市新環境基本計画』では8つの指標を設定しており、それぞれの達成状況は次のとおりです。

— 30%をめざす！

2014年度 -26.5%

### ①市内の温室効果ガス排出量

池田市内の2014年度CO<sub>2</sub>排出量は437,614トンと推算されました。これは基準年(1999年度)と比べると、約27%の削減となりましたが、前年度よりも家庭・業務・産業部門で増加し、全体で6,929トン増加したと推定されます。目標達成のためCOOL CHOICE(省エネ製品を選ぶなど賢い選択)の普及を図るなど温室効果ガス削減を進めていきます。(注:一部欠損値については2013年度値を用いて算出)



達成状況



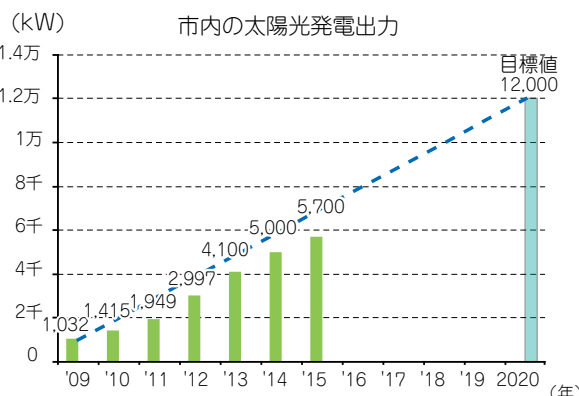
14年度もまあまあかな

12,000 kWをめざす！

2015年度700kW

### ②市内の太陽光発電出力

2015年度の市内の太陽光発電出力は前年度から約700kW増加しました。2014年度に国の補助金が終了し、また固定買い取り価格も減少傾向にあります。引き続き広報などを通じて普及拡大をめざします。



達成状況



15年はまあまあかな

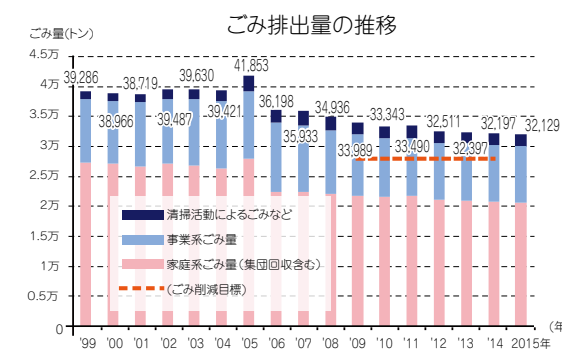
— 20%をめざす！

2015年度 -8.0%

### ③市内のごみ排出量

前年度から68トン減少し、32,129トンの排出となっています。2008年度比では8% (前年度は7.8%)削減され、目標の20%削減に一步近づきました。

2012年度からの家庭ごみ全量有料化に伴い4年連続の減少となりましたが、今後も3Rの取組を進め、さらなる減量をめざします。



達成状況



15年もまあまあかな

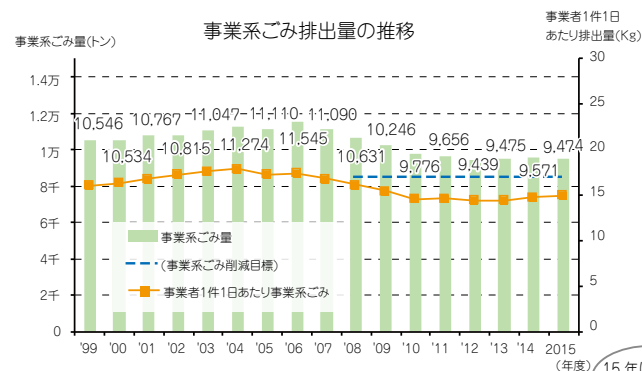
— 20%をめざす！

2015年度 -10.9%

### ④市内の事業系ごみ排出量

前年度から97トン減少し、9,474トンの排出となっています。2008年度比では10.9% (前年度は10.0%)削減でした。

景気の状態にも左右されますが、多様排出事業者制度(P.16参照)による取り組みを進め、減量化をめざします。



達成状況



15年はまあまあかな

**リサイクル率は20%!**

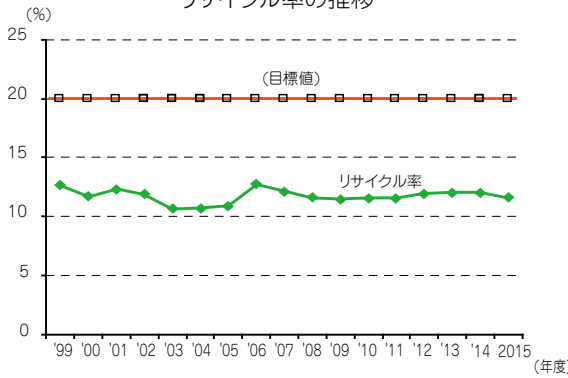
2015年度 11.6%

**⑤市内のリサイクル率**

前年度から140トン減少し、3,739トンの資源化量となっています。リサイクル率は前年度から0.4ポイント減少し、11.6%となっています。

資源物の半分近くが集団回収で集められており、今後も登録団体数の増加をめざします。

リサイクル率の推移



横ばいが続くね

達成状況

**20%以上をキープする!**

2010年度 20.1%

**⑥市内のまちの緑被率**

市街地の実質的なみどりの総量を測ることを目的に、空中写真の解析へと手法を変え、2010年度は初めて池田市独自で調査し20.1%であることが把握できました。減少傾向にある「まちの緑被率(市街化区域の緑被率)」20%の維持が目標です。

一定規模以上の開発にあたっては緑化協定を、風致地区では基準の遵守により緑被率20%以上を保つよう努めていただくとともに、みどりの風促進事業や花いっぱい運動なども推進し、緑豊かなまちづくりを進めていきます。

	対象区域 (万㎡)	緑被面積 (万㎡)	緑被率 (%)
市全体	2209	1,189.8	53.8
市街化区域	1088	219.2	20.1
市街化調整区域	1,121	969.6	86.5

達成状況

**1年に40地点実施する!**

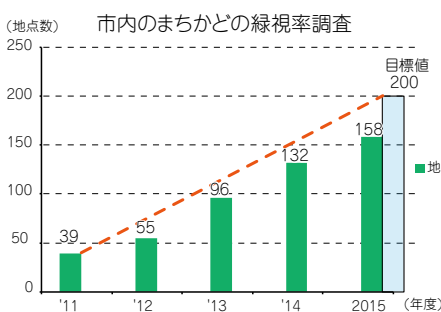
2015年度 158地点

**⑦市内のまちかどの緑視率調査地点数**

2010年度に全市的調査を行った「200地点」を、学校などに協力を求めて5年間で網羅することが目標です。

2015年度は、環境政策課の職員が細郷、秦野、石橋南小学校で環境出前授業を行い、合計26地点の調査をしました。

5年間で200地点の目標は達成されませんが、多くの学校で出前授業が実施され、また、市内小学校用の副読本でも緑視率が紹介されるなど、緑視率は池田流の環境指標として一定の定着が図られています。



目標に届かず

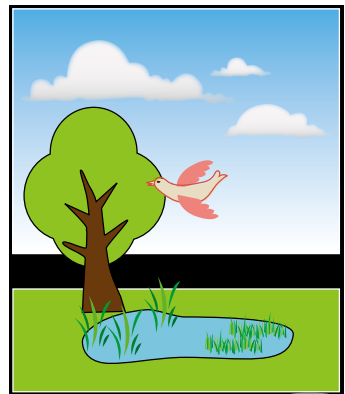
達成状況

**地域戦略をつくって取り組む!**

調査研究を継続実施

**⑧市内の生物多様性を示す指標**

現在、生物多様性の取り組みについて、自然団体と協働して、生物多様性の情報収集や調査、研究などを継続して実施しています。また、生物の多様性に関する自然環境や里山の保全につながるナラ枯れの調査や対策についても、2012年度より開始し、現在も調査研究を継続して実施し、被害対策に取り組んでいます。



ちょっと停滞中

達成状況

# Ⅲ. 各分野の現状と主な取り組み

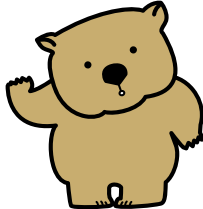
ここでは、『新環境基本計画』で設定した環境を構成する分野(2ページの樹木の図)ごとに、環境の現状を把握するためのデータや取り組み内容を掲載します。

## 1. とともに**学び**あい、**行動**しよう

### ●重点的な取り組み「パートナーシップによる行動推進」

池田市では、様々な方々とのパートナーシップ体制のもと、環境への取り組みを進めています。

2015年度も環境イベントや関西大学、NPO いけだエコスタッフ、地域の方々協力のもと実施している連続出前授業、「池田市環境学習研究会」の開催など、主に環境学習分野で連携した取り組みを進めました。



### ●この分野での指標や取り組み

2015年3月に策定した「池田市環境学習基本方針」では「身近な自然や社会への理解を持ち、多様な視点から考え、行動できる人・地域づくり」を目標像に2030年に向けて7つの達成目標を設定しています。

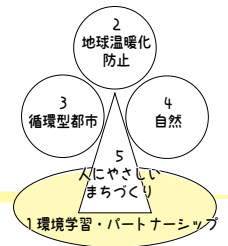
2016年2月に開催した「環境学習研究会」において、達成状況(右表)を把握しました。

項目	現状	達成状況
複合的な環境学習の実施数	全小学校で学年あたり3回	小学校では約25種類、計約40回の出前授業が実施され、複数の単元・時間を活用した複合的な学習の学年あたり3回の目標も9学年で達成しました。細郷小3年生や秦野小3年生は、出前授業と地域の素材、単元を全て用いた複合的な取り組みが実施されました。
PTAや地域と連携した活動数	各校1件	2校5学年で実施されました。
一般向け講座の実施数・参加者数	年10回、延べ300人	エコミュージアムでは年間24回の講座を開催、参加者数は168人でした。その他、サイクル&エコカーニバルとエコ活動報告会の参加者数を合わせて約1,060人でした。
教師向け研修会の回数	年1回	数回実施されました。
出前授業実施者向け講習会等の回数	年1回	実施できませんでした。
環境学習に関する相談対応数	年30件	エコミュージアムへの相談は2件でした。
環境学習研究会の開催数	年1回	1回実施しました。

### 2015 NEW 学習支援サイト「池田市地域まるごと環境学習」ができました (池田市)

池田市内の教職員の方の支援を目的として、総合的な学習の時間などに活用できる情報を掲載したWebサイトを作成しました。池田市特有の題材・素材のほか各種出前授業や教員の取り組み事例などを紹介しています。





## いけだ環境トップランナー賞

(池田市、環境保全審議会)

事業者の環境活動を支援することを目的に、優れた環境の取り組みを行っている市内事業者を表彰しています。

今回はペーパーレス化や屋上緑化などに取り組む「介護付有料老人ホーム メルシーますみ」と電力使用量の見える化や自動車から電動自転車への転換などに取り組む「医療法人 互恵会 池田回生病院」に、今後の環境への取り組みへの大きな期待をこめて「環境トップランナー奨励賞」が贈られました。



## サイクル&エコカーニバル

(池田市、池田市教育委員会、

大阪府トラック協会河北支部、あおぞら財団)

2015年11月1日、宣真高校で「2015 サイクル&エコカーニバル」を開催しました。今回は36の企業・団体の協力を得て、約1,000名が参加しました。

交通部門ではエコドライブシミュレーターや交通安全啓発、環境部門では手回し発電体験やうちエコ診断など見たり体験したりして楽しく学べるイベントとなりました。



## いけだエコ街(マーチ)～エコ活動報告会～

(池田市)

2016年3月13日、池田市民文化会館コンベンションルームで環境シンポジウム「いけだECO街(マーチ)」を開催しました。環境優良企業の表彰式や、環境出前授業の取り組み発表などを行いました。



## 特集 池田市のシンボル「五月山」を題材にした連続授業 テーマ「理想の五月山を考えよう」

(五月小、関西大学、NPO いけだエコスタッフ、池田市)

2011年度より関西大学の学生が講師となって実施している出前授業。2015年度は、五月丘小学校の4年生3クラスを対象に「五月山」を題材にした半年にわたる5回の連続出前授業を実施しました。実施後の保護者アンケートでは多くの方から「継続して実施してほしい」という要望がありました。

### (内容)

校区にある「五月山」の現状や昔と今の違いを知り、実際に現地で専門家から話を聞くなど実体験を通して、子ども達から見た五月山は実際どうだったか、将来どんな五月山にしていきたいかグループ単位で意見を出し合い、それを実現するために今自分たちに出来る事を考え、実践しました。



### 参加した学生の声

出前授業で子どもたちと触れ合うなかで、子どもたちは私が思う以上にたくさんを知っていました。しかし、知っていることと実際に行動することは全く別で、実際に何か行動しているときの子どもたちの表情や姿は別格に輝いていました。ただ知識を教えるだけでなく、実際に行動することも子どもたちの学びへの自主性や積極性を引き出すためには必要なんだと感じました。【中川彰宏】



出前授業を通して何にでも関心を持つことの大切さを子供たちから改めて考えさせられました。初めて見たものや感じたことなどを素直に受け入れ、またそれに対する率直な意見を出し合っている姿を見て何にでも関心を持つことが学びに繋がり、それが知識になるのだと感じました。お友達と協力して1番良い答えを出そうと悩んでいる姿がとても頼もしかったです。【酒井悠伎】



出前授業を通して私が感じたことは、協力することの大切さです。班活動において、それぞれ五月山に対する思いは違うので、みんなで一緒に考えていくことの大変さを感じましたが、班での話し合いを繰り返す中で、子どもたちが少しずつ意見をいうようになってきたり、相手の話を聞くようになってきたりと成長していったのが印象的でした。【村田明里】



### 第1回 関心を持つ 『五月山について知ろう』



- ・自己紹介、連続授業のテーマや目的を説明
- ・クイズ形式で五月山で起こった災害、五月山の生き物、五月山の木について知る

### 第4回 提案する 『自分たちの理想の五月山を考えよう』

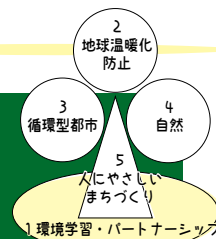


- ・理想の五月山にするために「自分たちに出来る事」を考える
- ・具体的な実施方法と各自の役割を決める

よりよい授業を作るために、普段接することの少ない社会人の方々と議論を重ねる中で、学生だけでは思いつかない貴重な意見を頂き勉強になりました。また小学生が素直に頑張っている姿を見ると、嬉しかったし、元気をもらいました。子供たちのためにと思っていた授業が、いつのまにか自分のためにもなっていました。【丸谷佳乃子】







### 第2回 調べる

『五月山に登って調べてみよう』

- ・専門家の案内により、五月山の獣害や保全の現状、植生・里山の今と昔、十ラ栴れの様子、まちの風景と音などを調査する

### 第3回 まとめる

『自分たちの理想の五月山を考えよう』

- ・カードゲームでこれまで学んだことを復習
- ・五月山のイメージをマインドマップにまとめる
- ・各班で理想の五月山を考え、発表し合う

### 第5回 実践する

『理想の五月山にするために今できることをやろう』

- ・班ごとに各所で、学んだことと理想の五月山にするためのお願いについてプレゼンし、各活動を展開
- ・明るい森にするために五月山で間伐つを実施
- ・作成したポイ捨て防止の看板を設置してもらうよう、市役所へ依頼し、啓発缶バッジを来庁者へ配布
- ・五月山の魅力を伝えるポスターとチラシをインスタントラーメン発明記念館に掲示依頼し、来館者にその魅力を伝える活動を実施

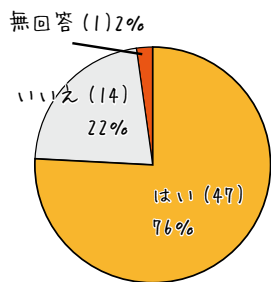
### エコ活動報告会 伝える

『半年間の取り組みを伝えよう』

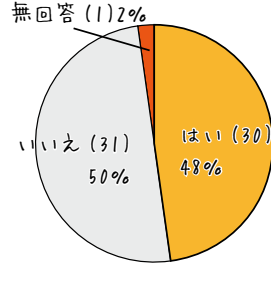
- ・エコ活動報告会で、市長や市民、企業の前で自らの取り組んだことを発表

## 保護者アンケート

『子供から環境授業について話を聞いたことがありますか？』



『環境授業から半年間で意識・行動の変化が見られましたか？』



## 教員の声

子どもたちを成長させていくためには、色んな人との出会いとクラス



の友達との関係の2点が大事だと考えています。色んな人との出会いという点では、大学生やエコスタッフ、環境にやさしい課の方、緑のセンターの清水所長、地域のボランティア、企業としてはインスタントラーメン発明記念館の方と関わることができて子どもたちにとってはいい刺激になりました。クラスの友達との関係という点では、課題や解決策について、みんなで話し合ってひとつにまとめるという子どもたちにとって大変な作業を通じて成長したのではないかと思います。子どもたちの感想としても「初めて知った」、「気づいたことがたくさんあった」、「クラスの友達や地域の人とつながったことが楽しい」、「またやってみたい」など満足感が高く、教師側としても普段教室の中の様子とは違った一面を見ることができて勉強になりました。

## 保護者アンケート結果

話を聞いたと答えた人は76%でした。  
変化が見られたと答えた人は48%と約半数には何らかの変化が見られました。

## 保護者の声

- 「これからも続けてほしい」(多数)
- 「貴重な体験だった」「すばらしい試み」(多数)
- 「大学生と関わることの意義が大きい」(多数)
- 「心に残る授業だった」(多数)
- 「自分の周りのことが見えるようになった」(複数)
- 「保護者にとっても環境に対する気付きがあった」(複数)
- 「自主的に考え行動する力が身に付いた」「身に付けて欲しい」(複数)

## 中学校の職場体験学習

(池田中学校、渋谷中学校、エコミュージアム)

2015年11月4日から11月6日までの3日間、池田中学校2年生の生徒6名、2015年10月21日から10月23日までの3日間、渋谷中学校の生徒2名の職場体験実習を受け入れました。リサイクル回収やリユースショップなどの業務の体験を通して3Rを学んでもらえる機会となりました。



## 夏休みエコ自由研究・工作フェア

(エコミュージアム、大阪府地球温暖化防止活動推進センター、あさデイリーサポート、とよなか市民環境会議アジェンダ21、パナソニック(株)エコソリューションズ社、緑のセンター、池田市他)

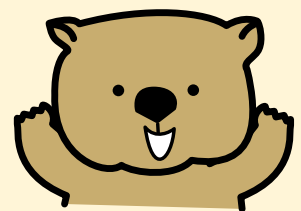
市内の小中学生やその保護者を対象に2016年7月30日～7月31日の2日間、「エコ自由研究工作フェア2016」を開催しました。多数の企業・団体の協力のもと、422名(延べ)が参加され、すごろく遊びや工作体験など、遊びを通して3R・エネルギーなどの興味や関心を持つきっかけ作りとなりました。また、ボランティアとして市外から7名(延べ)が参加されました。



## 次のステップに向けて

2015年度は、「池田市環境学習基本方針」のもと学校に対する学習支援や学習相談、出前授業などにパートナーシップで取り組みました。

今後は、先生たちを支援する「(仮称)環境学習サポートセンター」の設置に向けて取り組むとともに、パートナーシップの強化をめざします。

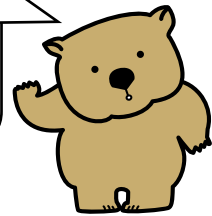


## 2. 未来の子どもたちのために地球温暖化を防ごう

### ●重点的な取り組み「エネルギー効率の良いまちづくり」

『新環境基本計画』では、「エネルギー効率の良いまちづくり」を重点的な取り組みとしています。

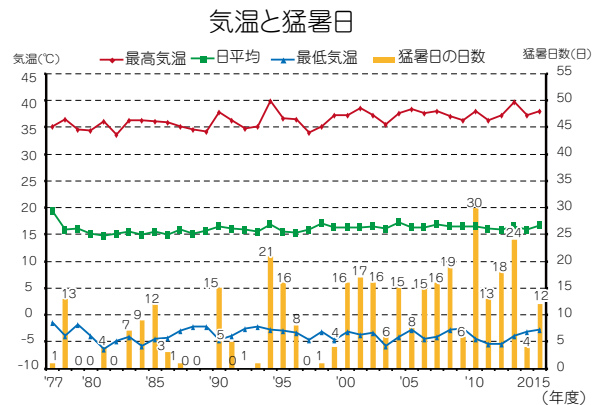
2015年度は、エネルギー変換効率が高い機器である燃料電池システムの設置費補助制度を新たに設立し、エネルギー効率の良いまちづくりの後押しに努めました。



### ●この分野での指標や取り組み

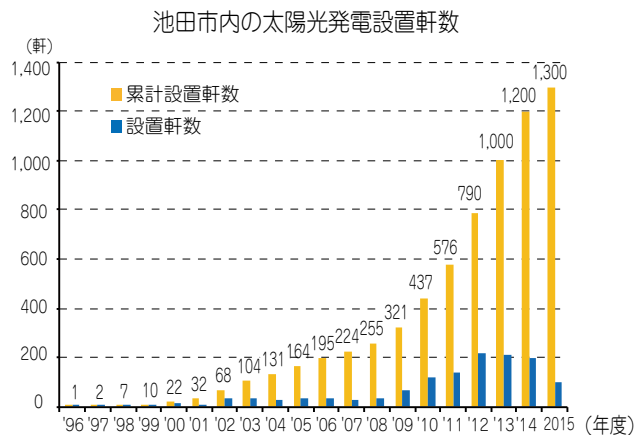
#### 気温と猛暑日

2015年度は、最高気温 38.0℃、最低気温 -2.7℃、平均気温 16.7℃、猛暑日（最高気温が 35℃を超える日）の日数は昨年から 8 日増えて 12 日でした。全測定値において昨年度の温度を上回っており、猛暑日は 18 年連続で発生しています。



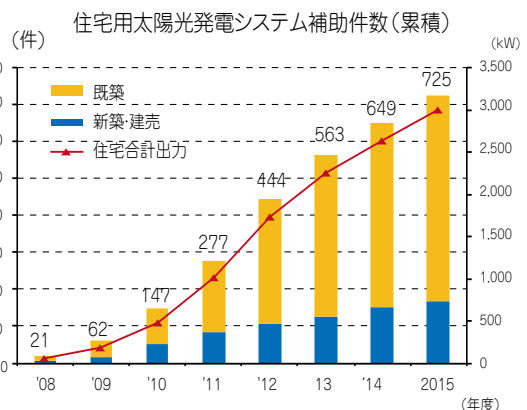
#### 池田市内の太陽光発電設置数

2015年度の市内の太陽光発電設置軒数は、前年度より約 100 軒増加し、市内では現在約 1,300 軒の太陽光発電システムが設置されています。国の補助制度は終了しましたが、池田市では、設置費補助制度を引き続き実施し、設置の後押しをしています。



#### 住宅用太陽光発電助成実績 (池田市)

2008年から住宅用太陽光発電システムの設置に対して出力 1 kW あたり 25,000 円を補助しています。2015年度は 76 件、合計 360.05kW の太陽光発電システムが設置され、これは 1 年間で約 202 トンの二酸化炭素削減効果があると見込まれます。

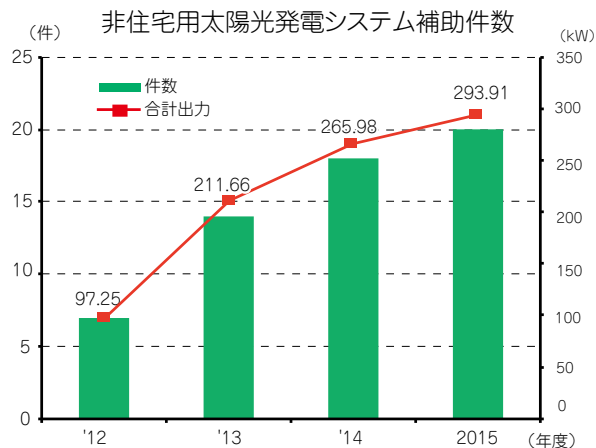


## 非住宅用太陽光発電助成実績（池田市）

2012年度から事業所や工場、集合住宅の共用部分など非住宅用の太陽光発電システムを設置する場合でも、出力1kWあたり25,000円で10kWまで補助しています。

2015年度は2件、27.93kWの太陽光発電システムに補助金を交付しました。

これは1年間で約16トンの二酸化炭素削減効果があると見込まれます。



2015  
NEW

## 燃料電池、太陽熱利用システム設置費補助実績

（池田市）

エネルギー効率の良いまちづくりをめざし、2015年度から新たに家庭用燃料電池システムの設置費補助制度を開始しました。補助額は、燃料電池は設置費用の10分の1で上限10万円です。

2015年度は、75件に補助金を交付しました。なお、2015年度には太陽熱利用システムの設置費補助制度も開始しましたが、こちらの補助件数は0件でした。



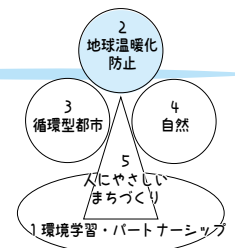
## 市民共同発電所の発電実績

（池田新エネ推進協議会、池田市）

池田新エネ推進協議会では、池田市と協働で、市民・事業者等からの寄付を財源に市民共同発電所の設置を進めています。平成24年度からこれまでに4機の市民共同発電所が誕生しました。

2015年度は合計42,784kWhの電力を発電し、これは約22トンの二酸化炭素の削減効果があると考えられます。



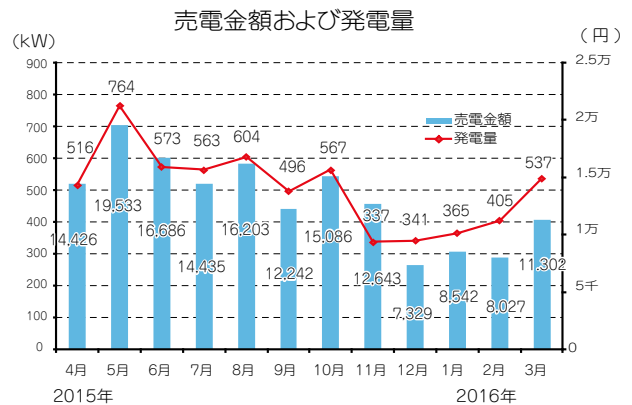


### 環境家計簿による売電金額及び発電量 (池田市)

住宅用太陽光発電システム補助制度を利用した方には、2ヵ年分の使用状況報告書と環境家計簿の提出を義務付けています。

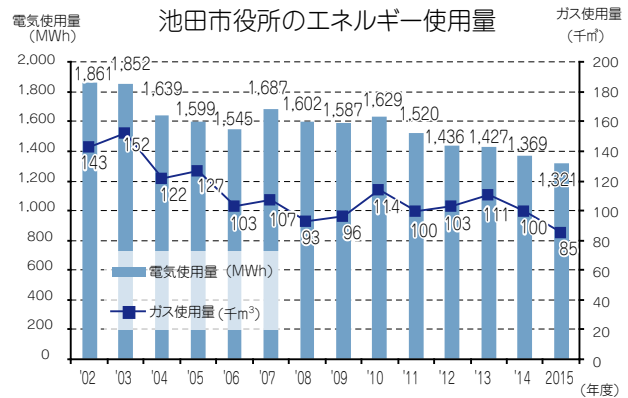
2015年度にご提出頂いた数値を集計した結果、1家庭の年間平均売電額は151,112円でした。

また、1家庭の年間平均発電量は5,115kWh(平均発電出力:4.83kW)であり、これによるCO<sub>2</sub>削減量は1家庭当たり年間約2.6トンと推算されます。



### 池田・府市合同庁舎のエネルギー使用量と節電 (池田市)

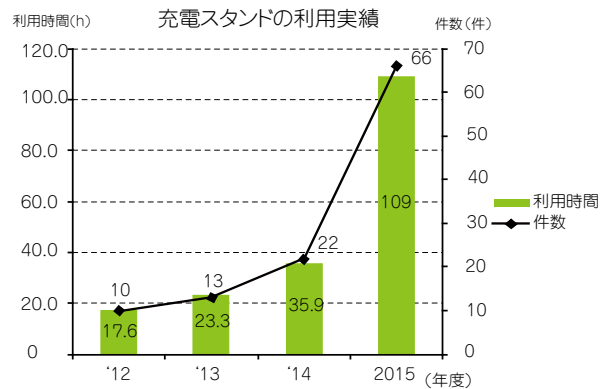
2015年度も池田市地球温暖化防止実行計画に基づき、徹底した庁舎の省エネ化に努めました。2015年度は老朽化していたエレベーターを更新したこともあり、電気使用量が前年度と比較して132,118kWh削減し1,236,776kWhとなりました。また、ガス使用量も熱源設備の稼働最適化を行った結果14,527m<sup>3</sup>減少し、85,570m<sup>3</sup>となりました。



### 充電スタンドの利用実績 (池田市)

電気自動車の普及や多様なエネルギー源による車両の確保を目的として、池田・府市合同庁舎駐車場へ電気自動車用充電スタンドを設置しています。充電スタンドは事前予約制ですが、無料でご利用いただけます。

2015年度は延べ66件、約109時間の利用がありました。

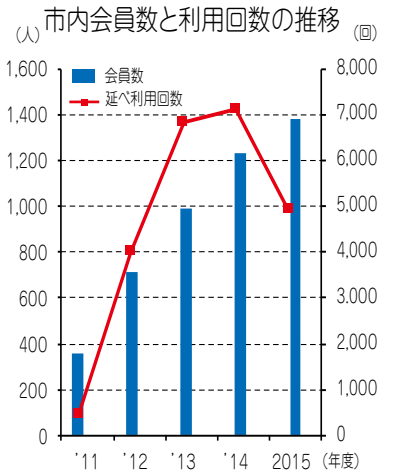
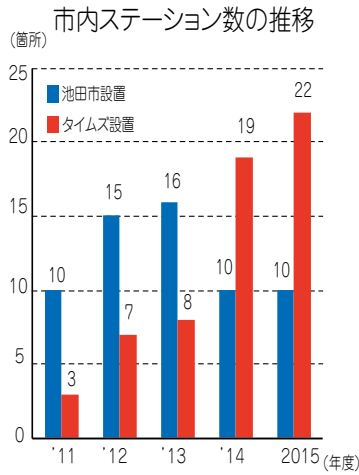


## ふくまるカーシェアリング

(池田市、タイムズ 24、ダイハツ)

池田市では、ダイハツ工業（株）から提供を受けた超低燃費車ミライース等を活用し、タイムズ 24（株）と協働でカーシェアリング事業を実施してきましたが、すべての車両のリース契約が終了したことに伴い、2016年3月末をもって事業を終了しました。

会員数は1,384人となり、池田市設置10ステーションのうち、4ステーションはタイムズへ移管、6ステーションを閉鎖した結果、市内ステーション数は25か所となりました



## 池田打ち水大作戦2016

(池田市・大阪府池田土木事務所)

ヒートアイランド現象の解消に役立つ、昔ながらの暮らしの知恵「打ち水」の効果を体験してもらうため、下水の高度処理水を使った打ち水イベントを実施しました。打ち水開始時は35℃という暑さでしたが、終了時には34.8℃となり、打ち水の効果を実感できました。



## 次のステップに向けて

2015年11月、COP21で「パリ協定」が採択され、日本は2030年度までに2013年度比で温室効果ガス排出量を26.0%削減することをめざすこととなりました。2016年4月からは小売電力市場の全面自由化も始まり、温暖化問題を取り巻く状況は刻々と変わりつつあります。池田市としても、社会情勢を注視しながら、市民の方にとってより役立つ形での施策の立案・推進に努めます。

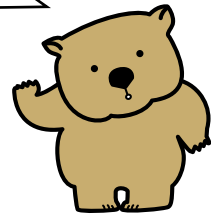


### 3. 環境にやさしい循環型都市をめざそう

#### ●重点的な取り組み「ごみゼロ社会の推進」

池田市では、ごみ排出量 20%削減をめざして各種減量施策に取り組んでいます。

2015 年度も指定袋制度、集団回収補助制度などを引き続き行うとともに、各種イベントでの啓発や小学校への出前授業などを実施し、ごみの減量に努めました。

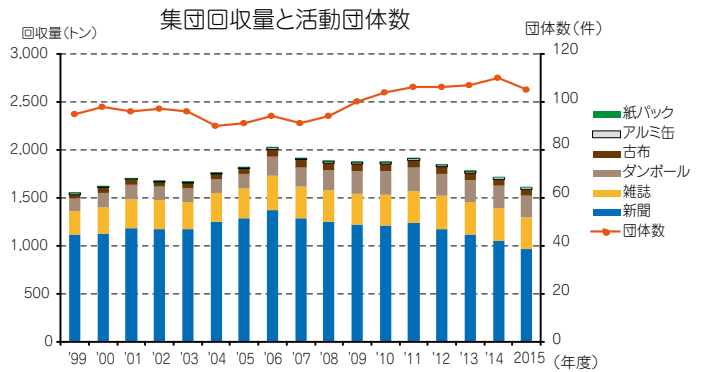


#### ●この分野での指標や取り組み

##### 集団回収量（池田市、集団回収団体）

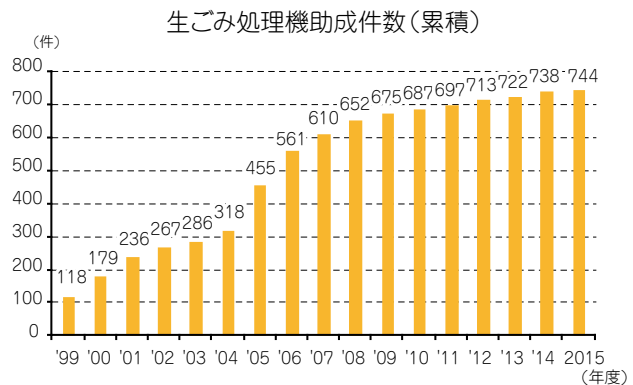
再生可能な有価物を集団回収している団体に補助金を交付することで、ごみの減量化の推進とともに、団体育成やリサイクル意識の啓発を図っています。

2015 年度は、105 団体で約 1,612 トンの資源物が回収されました。



##### 生ごみ処理機の購入助成（池田市）

ごみの減量化と資源化を推進するため、電気式生ごみ処理機の購入にかかる費用の一部を助成しています。2015 年度は 6 件、合計 168,000 円を交付しました。

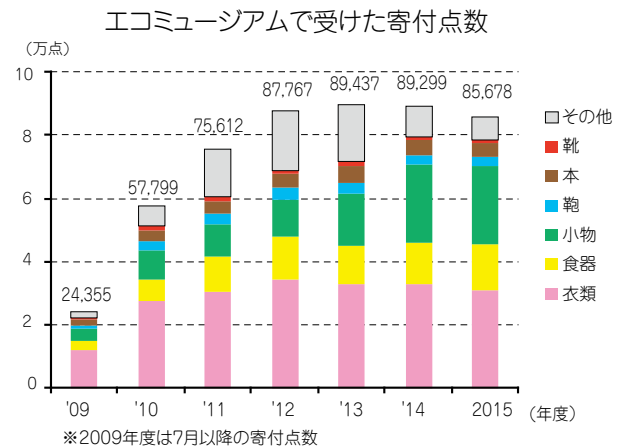


##### 衣類等の寄付

（エコミュージアム、市内小学校 PTA、池田市）

2015 年度にエコミュージアムや市内小学校で寄付された衣類の点数は 85,678 点でした。

寄付品は、エコミュージアムで販売し、その収益を市民共同発電所の設置に活用しています。





## 石橋地域でリユース品の回収を開始

(エコミュージアム)

2016年4月から、石橋駅から程近い「クルル いしばし」で月1回リユース品の回収を開始しました。エコミュージアムでは毎日リユース品の回収と販売を行っていますので、こちらとあわせてご利用ください。



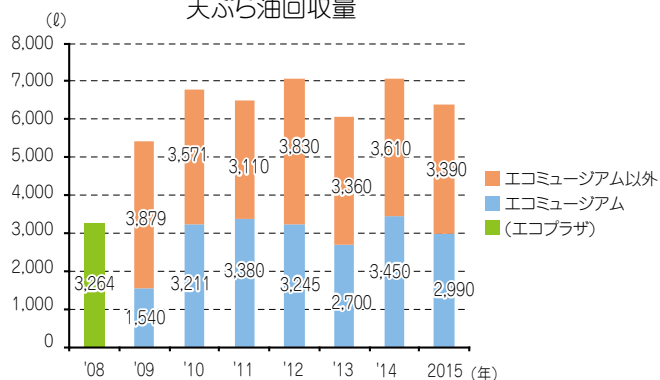
## 天ぷら油の回収 (エコミュージアム、

市内小学校PTA、阪急バス、池田市)

エコミュージアムや市内小学校で回収された使用済み天ぷら油は、2015年度で6,380リットルでした。

天ぷら油は、BDF(バイオディーゼル燃料)にリサイクルしており、市内を走る阪急バスにも利用されています。

天ぷら油回収量

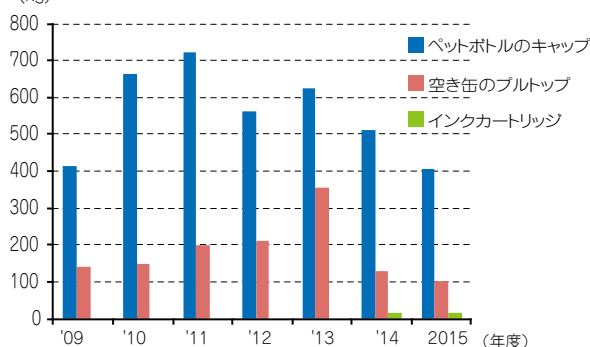


## リサイクル品の各種回収

(エコミュージアム、池田市理容組合、東山作業所)

エコミュージアムでは諸団体と連携してリサイクル品の回収を行っています。

エコミュージアムでのリサイクル品



### ●回収しているリサイクル品

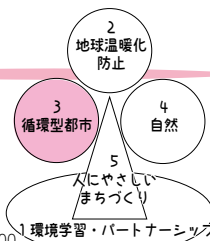
**プルトップ**：回収したものは池田の理容組合がまとめてリサイクル業者へ引き渡しリサイクルされています。その引取り費用で車いすを購入し寄贈する活動をされています。

**ペットボトル・キャップ**：回収したものは東山作業所にて仕分け・洗浄した後にリサイクル業者へ引き渡し、プランターなどにリサイクルされています。その引取り費用が東山作業所の活動資金に活用されています。

**インクカートリッジ**：回収したものは東山作業所にて色分け・メーカー別に仕分けした後にリユース企業に引き渡されています。その引取り費用が東山作業所の活動資金に活用されています。

食器のレンタルはエコミュージアム  
(072-752-7711) へお問い合わせ下さい。  
<http://ikeda-ecomuseum.org/rental.html>





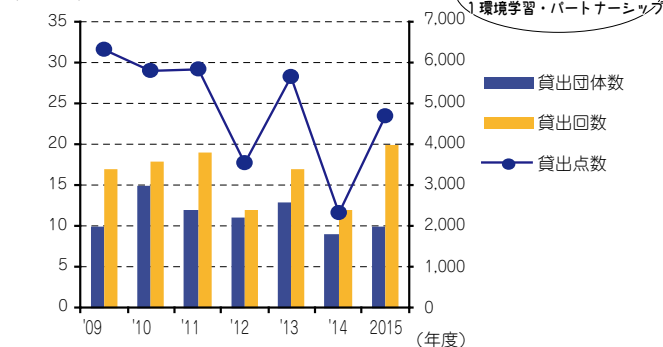
## イベントでのごみ分別、減量

(エコミュージアム)

エコミュージアムでは、市内で開催されるイベントで、リユース食器の貸し出しやごみの分別回収、出店者への排出削減の呼びかけを行い、主催者とともにごみをなるべく出さない、減らす取り組みを行っています。

2015年度の貸出団体数は10団体、貸出回数は20回、貸出点数はのべ4,674点になりました。

リユース食器の貸出状況

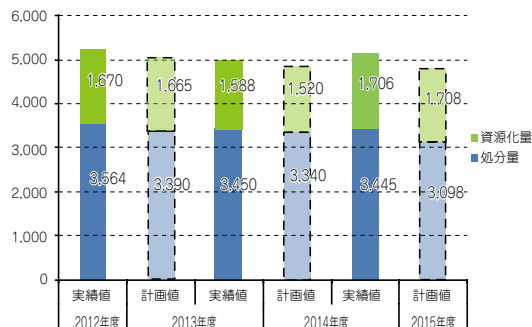


## 多量排出事業者制度 (池田市、多量排出事業者)

事業系ごみの排出量が月間3トンを超える事業者に対して、事業系一般廃棄物減量計画書の作成及び実績報告書の提出を義務付けています。

2014年度は19社3,340トンの計画値が掲げられていましたが、実績としては19社3,345トンとなり、計画値を上回りました。2015年度は3,098トンの排出が計画されています。

多量排出事業にかかる実績値と計画値



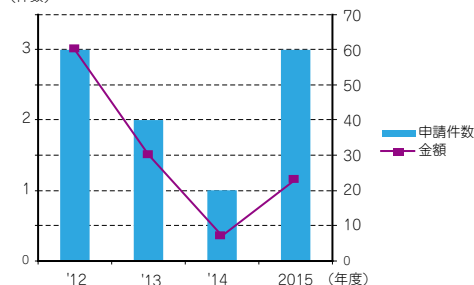
## ごみ散乱防止ケージ助成 (池田市)

2012年度から、鳥獣による家庭ごみの散乱を防止することを目的として、ごみ散乱防止ケージを設置する個人や団体に対して、購入額の3分の2(上限3万円)を助成しています。

2015年度は3件の設置に対して助成しました。

一定の成果を得たことを鑑み、本助成制度は2015年度をもって終了しました。

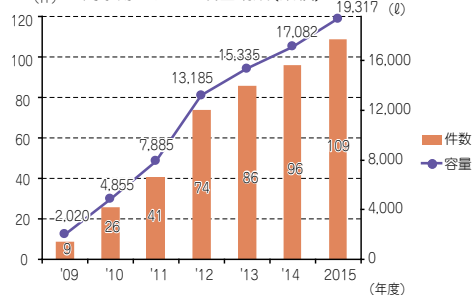
ごみ散乱防止ケージ助成件数



## 雨水タンクの設置助成 (池田市)

2009年度から雨水貯留タンクを設置される方に購入価格の2分の1(上限3万円)を助成しています。2015年度は13件、合計容量2,235リットルが設置されました。

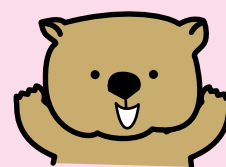
雨水貯留タンク設置助成(累積)



## 次のステップに向けて

ごみの減量化を進めるには、制度面および意識啓発の双方の取り組みが重要となります。

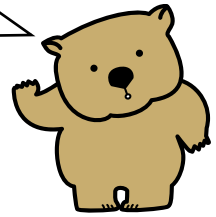
今後も、指定袋制度や分別収集などの取り組みを進めるとともに、ホームページや広報誌、イベント、出前授業などによる啓発に取り組んでいきます。



## 4. 豊かな**自然**を守り、育てよう

### ●重点的な取り組み「身近な緑の保全と創造」

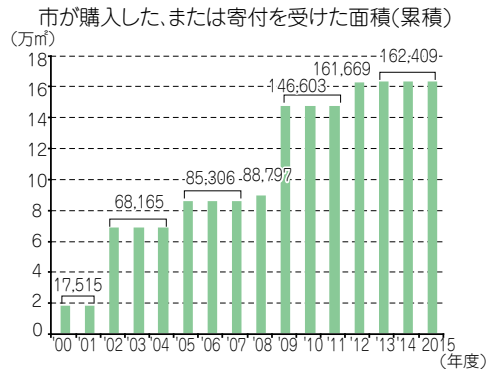
池田での貴重な動植物を展示する自然展や、市民参加型の寄せ植えコンテストを行って啓発に努めました。身近な里山・五月山には依然、発生しているナラ枯れ対策にも取り組んで、うるおいのあるまちづくりを進めました。



### ●この分野での指標や取り組み

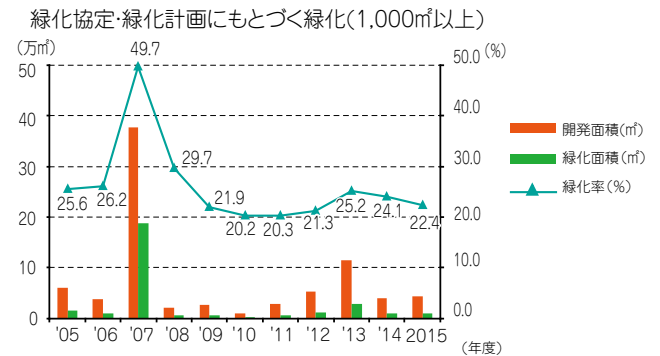
#### さんろく 山麓・山間緑地保全区域内の土地の購入(池田市)

2015年度の購入・寄附等はありませんでした。五月山の身近な自然を守るためにも、積極的に取り組んでいきます。



#### 緑化協定、緑化計画 (池田市)

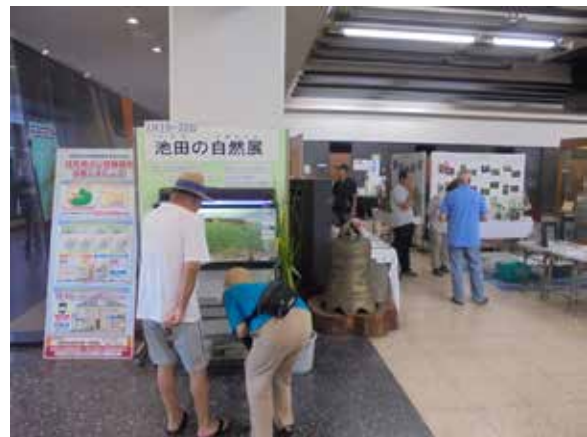
市環境保全条例に基づき、開発行為等を行う土地で面積が1,000㎡を超えるものは緑化協定の締結を、1,000㎡以下で条例に該当するものは緑化計画書の提出を義務づけ、敷地面積の20%以上の緑地を設けるように指導しています。



#### 池田の自然展

(池田市、池田植物同好会、池田・人と自然の会、五月山グリーンエコー、五月山自然観察インストラクター連絡会)

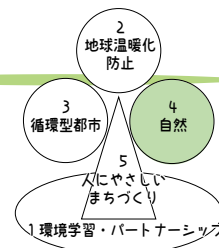
池田市の自然環境への関心を高め、生物多様性保全の重要性を普及・啓発することを目的として、2016年7月19日から22日にかけて市役所1階ロビーで「池田の自然展」を開催しました。市内で活動する「池田植物同好会」、「池田・人と自然の会」、「五月山グリーンエコー」そして「五月山自然観察インストラクター連絡会」の4団体の協力により、市内に生息する生物やその標本、団体の活動紹介などを展示しました。



#### サクラ並木の整備 (池田市)

2015年度は、猪名川へ続く神田夫婦池線の北側歩道沿い約470メートルに20本のヤエザクラを植栽しました。事業費の一部には、「みんなでつくるまちの寄付」を活用しています。2016年度は同線南側歩道沿いへも植栽する予定です。





### 花いっぱい運動 (池田市、市内 26 市民団体)

市内で活動中の花いっぱい運動の団体は、年に二回草花を植え替えて市内のいたるところで美しい花を咲かせて、地域の癒やしの場を提供してくれます。



### 花いっぱい運動支援事業

(ほそごう・秦野・くれは・五月丘・神田の各地域コミュニティ推進協議会)

地域と学校などで花を育て緑化を進めるため、苗や肥料などを支援するものです。

### ナラ枯れ対策

(五月山グリーンエコー、池田・人と自然の会、池田市)

補助を受け駆除に取り掛かっていますが、過去最高の被害本数になってしまいました。ですが、終焉に近づけるため調査を継続します。

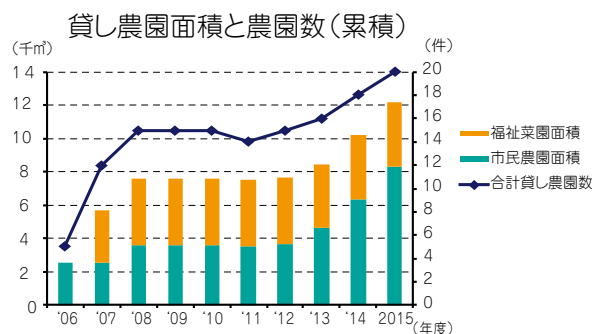
### 寄せ植えコンテスト (池田市緑化推進委員会)

第4回寄せ植えコンテストは、池田駅前公園で開催し、天候もよく多くの来場者が来られ、大盛況となりました。



### 貸し農園 (池田市)

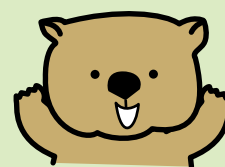
2005年の法改正により農家などが農業委員会の承認を得て、農地を直接貸すことが出来るようになりました。池田市内の市民農園をはじめとする貸し農園は、2015年度には20件、12,160.2㎡となっています。



### 次のステップに向けて

花いっぱい運動や寄せ植えコンテストを通じて、参加者に緑を身近に感じてもらうことができました。今後も行事の拡大をめざします。

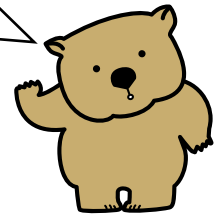
ナラ枯れ対策としては、過去最多の被害本数が確認され、被害の拡大防止のための伐倒・くん蒸処理を行いました。今後も里山保全に取り組んでいきます。



## 5. 人にやさしいまちづくりを進めよう

### ●重点的な取り組み「だれもがいきいきと暮らせるまちづくり」

2015年度は、地域分権制度やまちづくり出前講座などを引き続き実施し、活力あるコミュニティづくりを推進しました。また、各種環境測定を実施し、健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組みました。



### ●この分野での指標や取り組み

#### 微小粒子状物質（PM2.5）の測定（池田市）

2012年4月より、神田大気観測局にて微小粒子状物質（PM2.5）の測定を開始しました。測定結果の速報値は、池田市のホームページ（<http://kankyo-ikeda.jp>）で見ることができます。

なお、2014年4月からは神田大気観測局に加えて、大阪府が設置している南畑会館測定局でのデータも同ページで公開しています。

PM2.5の環境基準には短期基準と長期基準の二つがあり、この両方を満たすことが環境基準への適合となりますが、2015年度は両方の基準を満たし、環境基準に適合しました。



携帯電話でおおさか防災ネットに受信申し込みをすれば、PM2.5が高濃度になると予測されたときにメールが配信されます。



\*PM2.5とは、大気中に浮遊する粒子状物質のうち、粒径が $2.5\mu\text{m}$ （ $=0.0025\text{mm}$ ）以下の微小な粒子のことです。粒径が小さいため（髪の毛の $1/30$ 程度）、肺の奥深くまで入りやすく、健康被害が懸念されます。発生源はボイラー、焼却炉などのばい煙を発生する施設や自動車等の人為起源のもの、土壌、海洋等の自然起源のものがあります。

<環境基準>

1年平均値 $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下（長期基準）かつ、1日平均値の年間98%値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下（短期基準）であること。

$\mu$ ：マイクロ。1 $\mu\text{g}$ =1,000,000分の1g

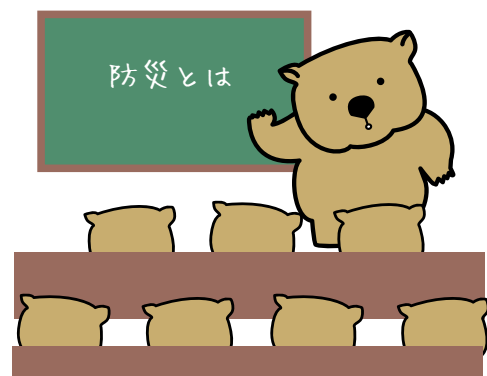
神田大気観測局測定結果

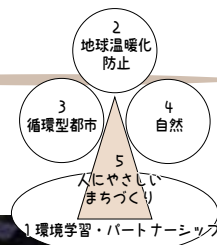
年度	年平均値	有効測定日数 日	日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		日平均値の年間98%値 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	日平均値の最高値 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	環境基準適合状況	
	$\mu\text{g}/\text{m}^3$		日	%			短期	長期
2013	16.2	365	14	3.8	37.5	55.2	×	×
2014	15.1	363	7	1.9	33.2	47.9	○	×
2015	14.0	364	7	1.9	35.0	39.5	○	○

#### 市役所職員による「まちづくり出前講座」（池田市）

市民と行政の協働をめざして、行政の制度や計画、事業などをよりわかりやすく理解してもらうための「まちづくり出前講座」を実施しています。

2015年度は、各種団体からの要望で、防災関係が4回、消費者トラブル関係が12回、マイナンバー制度関係と高齢者関係がそれぞれ2回、保険制度関係が1回の計21回の講座を開催しました。





2015  
NEW

## 地球にやさしい思い出作り事業

(北豊島地域コミュニティ推進協議会)

2015年12月23日、廃油をリサイクルしたエコキャンドルを作り、点灯するイベントを開催しました。後片付けでは徹底したごみの分別回収を行い、キャンドルの暖かい灯りを通じて地域にエコの輪が広がりました。



## 地域美化清掃 (石橋南地域コミュニティ推進協議会)

「美しいまち池田にしよう」をスローガンに、地域美化清掃に取り組んでいます。

2015年度は清掃用具保管庫を石橋西公園に設置しました。



## 五月山清掃登山 (帝塚山大学)

2016年3月27日、帝塚山大学スポーツ医学研究会の学生が清掃登山を行い約4kgのごみを収集しました。ごみは登山道にはあまり発見されない一方、展望台や駐車場で多く観察され、内訳はタバコの吸殻やアメ玉など菓子の包み紙がほとんどでタバコは515本にのぼりました。



## タバコのポイ捨て防止活動

(大阪大学環境サークルG E C S McK 班)

大阪大学の学生が、「まちをきれいにする」を合言葉に、大阪大学周辺を対象として、まちの美化に取り組んでいます。

ただごみを捨てるだけでなく、データをまとめて対策を提案するなど工夫をこらし、2015年度はごみ拾いにスポーツの競技性を取り入れた、地球に最もやさしいスポーツである「スポーツGOMI 拾い」を実施しました。



## 次のステップに向けて

この分野は、環境分野だけにとどまらず、地域の活性化やまちづくりなど、より広い範囲の施策と繋がっています。

2015年度は、引き続き大学と連携した取り組みを継続実施しました。今後も連携を継続するとともに、地域コミュニティも巻き込んだ取り組みへの展開を検討します。



## IV. かんきょう レポート によせて

私ども介護付き有料老人ホーム「メルシーますみ」は、大阪府により「特定施設入居者生活介護」の指定を受けている介護施設です。平成17年より池田市満寿美町にて運営させて頂き、自然豊かで、やさしさに溢れた池田のまちに相応しくアットホームな施設をめざしております。

光熱費等の節電やごみを出来るだけ出さないようにと一人一人が意識しております。安易な光熱費の削減は入居者様へのサービスの低下につながってしまいますが、日々の細目な管理体制のもと、安心快適な生活が送れるよう心がけています。

また、環境面を考慮しつつ入居者様に喜んで頂けるよう屋上を菜園、庭園利用するなど合理的かつ趣味の世界においても生活感溢れやさしい取組をめざしています。

「環境トップランナー奨励賞」といった立派な賞をいただけるには道半ばではありますが、今後とも環境にやさしいまち池田の実現に向けて、職員一丸となり地元近隣の皆さまと共栄共存、努めて参ります。



「環境トップランナー奨励賞」受賞企業  
介護付き有料老人ホーム メルシーますみ  
施設長 清水 信明

法人の取り組みとしては、『入院患者様・ご利用者様に優しい省エネ』を目標に、日々の「こうした方が良いのでは?」「こうした方がいいよね。」の積み重ねが実を結んだのではないかと考えています。

当法人が取り組んだ事例としましては、

- ①敷地内の樹木の散水に井戸水を使用し水道代の節約。
- ②コージェネレーションを導入し、発電するだけでなく、発電する際にでる廃熱を貯湯槽に利用し、給湯ボイラーの稼働削減。
- ③電気製品のチェック表を作成し、無駄な電気の使用をカット。(連休時の待機電力の削減)
- ④空調のタイマー設定をこまめに見直すことで、エネルギーの効率化。
- ⑤近距離の訪問用に電動自転車を導入し、軽自動車を廃車する事で二酸化炭素の排出削減。
- ⑥断熱フィルムや草簀(よしず)等を利用することで、室温上昇の低減。
- ⑦環境学習・パートナーシップとして、近隣の中学校よりボランティア体験を毎年4~6名ほどの生徒さんの受入をしており、介護現場の体験等を長期に渡って取り組んできました。

今回の受賞で終わりと考えず、環境活動に対してこれまで以上に取り組んでまいります。

また、今年の夏、新たな取り組みを開始しました。

- ①井戸水を樹木の散水だけでなく、気化熱効果を期待して正面玄関前に打ち水をすることにしました。来院患者様に少しでも涼しい気持ちになって頂き、ご病気の気持ちが少しでも紛れたら嬉しいです。また玄関の自動ドアからの温かい風の流入を減らし、冷房の効率もあがる事を期待しました。
- ②エアコンの室外機に日除けのカバーを設置したり、熱くなった室外機を散水にて冷却する試みも始めました。効果の確認はこれからだと思いますが、身近な事から取り組んでいきたいと考えてます。

これからも、患者様入居者様にやさしい省エネをめざしていきたいと考えてます。今回、このような賞をいただけたことをとても光栄に思います。ありがとうございました。



「環境トップランナー奨励賞」受賞企業  
医療法人 互惠会 池田回生病院  
法人本部 西島俊彦

「環境にやさしい課」というユニークな名をつけられた課が出来上がってから17年。「今日の目標を明日の当たり前へ」をキャッチフレーズに、池田市の環境施策は、行政、市民、事業者が互いに連携しながら、それぞれの視点や立場で着実に実践してきたと思います。しかしながらその一方で、行政をはじめとして、私たち市民や事業者それぞれが、自ら否応なしに、環境を意識しなければならない自然事象や社会事象に多数見舞われてきたというのも事実です。

このような時代の流れの中で、より戦略的に環境に取り組むために「環境政策課」へと課名が変更され、2016年7月には「環境基本条例」が制定されました。環境という強い体幹で行政、市民、事業者がより一層連携を深め、池田の環境を作り上げていくという意識と矜持を持つことが期待されます。

今年のかんきょうレポートをご覧ください。随所に市民、とりわけ若い世代の活動や活躍が目を引きます。環境学習のタネが蒔かれ、育ち行く様を感じることができます。

地道で着実な環境学習の根が、強く太い幹に育っていくように、これからもより一層の活動や支援、連携をお願いしたいと思います。

「明日の目標が、次世代の当たり前に」引き継がれるように！！

池田市環境審議会 会長 藤田祥子

みなさん、今年もかんきょうレポートができました。

2015年度は新環境基本計画ができ5年目にあたりますので計画の進捗調査を行ったところ、環境部局の施策を中心に一定の成果を上げ、特に環境学習にも鋭意取り組みました。

さて、環境というものは、部署にかかわらず必ず配慮する必要がありますが、市役所内の各課における環境配慮や各課が連携しなければ実施が難しい事業など、その進捗には困難な課題があります。

池田市では、こうした状況も踏まえて2016年7月に環境基本条例を制定しました。今後はこの条例に基づいて各課が更にしっかりと連携をして、池田市全体で様々な事業を環境に配慮した取り組みとして進めていきます。

市民や事業者のみなさんにも、より環境にやさしい行動を選択していただきながら、また、みなさんの協力のもと、ともに「環境にやさしいまち池田」をめざしていきましょう。

池田市長 倉田薫

## 編集後記

この「かんきょうレポート」を編集していると、「環境」という言葉の意味の広さを痛感します。

例えば、池田市は「環境学習」を推進していますが、子どもたちを囲む要素、すべてが環境。当然、テーマは広汎に及び、到底環境部の仕事だけでカバーし得るものではありません。

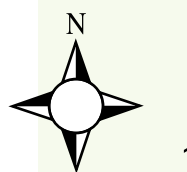
環境に関係ない仕事など、「ない」と言っても過言ではないと思います。この意識を行き渡らせることが、中間見直しを経た「新環境基本計画」残りの5年間の課題となりそうです。

ほんの少しずつでも、皆様の意識を変えていただけるように、池田市としても工夫して取り組んでいきたいと思っています。

環境部 環境政策課

市内の温室効果ガス排出量  
437,614ト(2014年度)  
-26.5%

市内の太陽光発電出力  
5,700kW (2015年度)



面積 / 22.09km<sup>2</sup>



○市内のまちの緑被率  
20.1% (2010年度)

○市内のまちかどの  
緑視率調査地点数  
累計158地点(2015年度)

○市内の生物多様性を  
示す指標  
(調査研究中)

- 保存樹木
- 保存樹林  
(2015年度末現在)

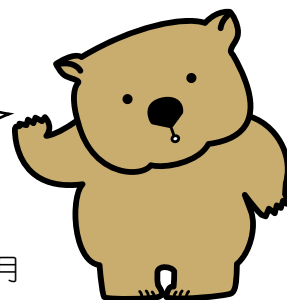
○市内のごみ排出量  
32,129ト(2015年度)  
-8.0%

○市内の事業系ごみ排出量  
9,474ト (2015年度)  
-10.9%

○市内のリサイクル率  
11.6% (2015年度)

環境指標の現状はp.3~4に詳しく掲載しています。

掲載している  
取り組みの詳しいことは  
**環境政策課**へ  
お問い合わせください。



いけだ・かんきょうレポート 2015 / 平成 28 年 (2016 年) 11 月

監修 / 池田市環境審議会

〒 563-8666 大阪府池田市城南 1-1-1

発行 / 池田市 環境部 環境政策課

072-752-1111 (内線 377) kankyo@city.ikeda.osaka.jp

編集協力 / (株) オリエンタルコンサルタンツ